

情報連絡員総括表（2020年7月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100%)

○2020年7月のDI値は、前月との比較において「収益状況」を含む4指標が改善、「設備操業度」が横ばい、「売上高」「業界の景況」を含む4指標が悪化する結果となった。先月改善傾向に向かったものの、再び悪化傾向に戻った状況。新型コロナウイルスの**感染者数が再び増え始めた**影響が出てくることを不安視するコメントが多い。また、今年は梅雨明けが平年より10日程遅く**長雨が続いた**ことが景況を悪化させているとのコメントも多く寄せられた。

中央会や行政に対しては、**国民の命を守ることが最優先である、国民の健康を守るための政策が必要**との声が寄せられている。

○「製造業」では、前月との比較において、「収益状況」「業界の景況」を含む3指標が改善、「売上高」を含む3指標が横ばい、その他の3指標において悪化する結果となった。織物業においては、常にシーズンの先取りをして製造していることから、先の見通しの立たない現状が今後の経営に大きく影響してくることを懸念している。

○「非製造業」では、前月との比較において、「収益状況」を含む4指標が改善、「売上高」「業界の景況」を含む4指標が悪化する結果となった。

7月22日からスタートしたG0 T0 トラベルキャンペーンは、東京が対象から除かれたことが影響し、宿泊客数は対前年同月比 30~60%という落ち込み。また道路旅客運送業においては、第1四半期の営業収益が前年比マイナス 58%と大きく落ち込んでいる。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年7月	-80.0	0.0	-21.7	-28.3	-78.3	-56.6	-66.7	-35.0	-85.0
2020年6月	-76.7	-2.4	-18.3	-30.0	-80.0	-58.3	-66.7	-36.7	-83.3
増減	-3.3 ↓	2.4 ↓	-3.4 ↓	1.7 ↑	1.7 ↑	1.7 ↑	0.0 -	1.7 ↑	-1.7 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2020年7月	-86.7	0.0 ポイント	-	-73.4	-6.8 ポイント	↘	-80.0	-3.3 ポイント	↘			
	2020年6月	-86.7			-66.6			-76.7					
在庫数量	2020年7月	10.0	6.7 ポイント	↘	-23.1	-7.7 ポイント	↗	0.0	2.4 ポイント	↘			
	2020年6月	3.3			-15.4			-2.4					
販売価格	2020年7月	-16.7	-3.3 ポイント	↘	-26.6	-3.3 ポイント	↘	-21.7	-3.4 ポイント	↘			
	2020年6月	-13.4			-23.3			-18.3					
取引条件	2020年7月	-26.7	6.6 ポイント	↗	-30.0	-3.3 ポイント	↘	-28.3	1.7 ポイント	↗			
	2020年6月	-33.3			-26.7			-30.0					
収益状況	2020年7月	-83.4	3.3 ポイント	↗	-73.3	0.1 ポイント	↗	-78.3	1.7 ポイント	↗			
	2020年6月	-86.7			-73.4			-80.0					
資金繰り	2020年7月	-63.4	-3.4 ポイント	↘	-50.0	6.7 ポイント	↗	-56.6	1.7 ポイント	↗			
	2020年6月	-60.0			-56.7			-58.3					
設備操業度	2020年7月	-66.7	0.0 ポイント	-					-66.7	0.0 ポイント	-		
	2020年6月	-66.7							-66.7				
雇用人員	2020年7月	-46.7	0.0 ポイント	-	-23.3	3.4 ポイント	↗	-35.0	1.7 ポイント	↗			
	2020年6月	-46.7			-26.7			-36.7					
業界の景況	2020年7月	-90.0	3.3 ポイント	↗	-80.0	-6.7 ポイント	↘	-85.0	-1.7 ポイント	↘			
	2020年6月	-93.3			-73.3			-83.3					

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2			
	繊維工業	0	3	2	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	3	0	2	0	3		
	木材・木製品	0	4	1	1	1	3	0	2	0	5	0	3	0	3	0	2	0	5		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	0	3	1	0	0	0	0	1	0	3	0	3	0	2	0	2	0	3		
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2		
	一般機器	0	4	1	1	0	1	0	1	0	4	0	3	0	4	0	1	0	4		
	電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0		
	輸送用機器	0	5	2	2	0	1	0	2	0	4	0	2	0	3	0	3	0	5		
その他	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
非製造業	卸売業	0	3	0	1	0	1	0	2	0	3	0	1					0	0	0	3
	小売業	1	4	0	2	2	1	0	2	0	5	0	5					0	2	0	5
	商店街	0	5	1	1	0	3	0	1	0	4	0	3					0	0	0	5
	サービス業	0	3			0	2	0	1	0	3	0	3					0	2	0	4
	建設業	0	4			0	1	0	1	0	4	0	1					0	1	0	3
	運輸業	0	4			0	2	0	2	0	3	0	2					0	2	0	4

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> やはり、新型コロナウイルスの影響が徐々に表れてくる気配がある。夏休み期間の状況がどうなるかが懸念される。 新型コロナウイルスの影響で減少した売上げが、元の水準まで戻るには現状では非常に困難であると感じている。生産調整を行い従業員の雇用を維持するべく努めてはいるが、パート・派遣については出勤日数を減らして対応してもらうなど苦勞をかけてしまっている。
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている。二番茶も減産、単価安にも関わらず、先行き不透明感から、仕入量を抑えた組合員が多くみられる。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で先行きの見通しが立たない。加入組合員の多くがアパレル向けの生地生産に携わり、常にシーズン先取りの生産となるため、先行きの見通しが立たないということは、事業経営に大きく影響してくる。業界では今後一層の景況の落ち込みが心配されている。 6月までは、仕掛分が残っていたので仕事は前年度の6割程度あったが、7月に入ると激減した。9月以降の受注も期待出来ないだろう。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりに前年並みの荷動きがあったが、まだまだ現状では厳しい不透明な状況が続くと予測する。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> 再び新型コロナウイルス感染者が増えており、それによる警戒感・停滞感は如何ともしがたい。
紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> 6月に続き7月も新型コロナウイルス特需の反動による景況悪化が続いてはいるものの、減少幅は縮小している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上高の対前年比65%の状況。長雨の影響が大きく、新型コロナウイルスによる影響は今のところ目立たない。それでも着工見合わせが、少しずつ出始めている。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 売上高対前年同月比 62%減。 売上げが若干戻りつつあるが、新型コロナウイルスの感染者数が急増してきている現状が今後どのように影響してくるかは不透明であり、不安材料しかない。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連設備の投資抑制により一段と厳しさが増す一方で、電動化等モーター関連分野の設備受注は堅調に推移している。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 長雨の影響により家庭用空調機の販売は低調だったが、生産は高水準を維持している。 外出自粛・在宅勤務継続などの生活様式の浸透により冷蔵庫の生産・販売は好調に推移した。 8月の梅雨明け後は全国的に猛暑が予想されており、家庭用空調機の販売拡大に期待している。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 感染者数が拡大する中で景況の底が中々見えない状況が続いている。 四輪車は6月と比較すると生産量は前年度並みに回復してきた。8月以降も前年度並みの計画に戻りつつあり新型コロナウイルスにより需要の下振れが起きないことを願う。ただ、二輪車は回復が遅れており大きく減少したままの生産状況が続いている。少しでも需要が戻ることを期待する。 8月以降の自動車部品関連業においては発注が出始めているが、今後の新型コロナウイルスの推移によっては予断を許さない状況。 受注が激減しており、資金繰りが苦しい。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 7月は長雨の影響を受け、4ヶ月振りに前年同月実績を大幅に下回り、過去最低の出荷量となった。新型コロナウイルスの拡大、天候不順による影響など需要の先行きは不透明。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 卸売業では回復の兆しが見えてきたと思ったら、新型コロナウイルス第二波の影響で、客足、売上げが急速に悪化してきた。内食需要が増えたことで好調だった小売店も失速感が出てきている。
野菜・果実小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあるが、7月はそれ以上に天候不順が続いた事による青果物の価格の上昇が大きく影響した。特に、じゃがいも、にんじん、たまねぎなどは急激な価格上昇をし、今でも戻っていない。特定の品目だけでなく、全体として価格が上昇しており、「商売を始めて以来一番厳しい」という組合員もある。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス第2波の影響と思われるが、回復しかけた人通りがまた減少している。 新型コロナウイルス問題の長期化により、飲食店をはじめとする店舗が閉店等に追い込まれている。現在営業している店舗も、このまま問題が長期化した場合廃業を余儀なくされる可能性がある。 少し客足が戻った気がしていたが、大都市や県内で新型コロナウイルス感染者数が増加したことから、また足が遠のく懸念がある。 7月1日からレジ袋が有料になったことを受け、オリジナルトートバッグやエコバッグについて検討している。 6月は4～5月の経済活動自粛の反動でよい数字であったが、7月は新型コロナウイルスがまた広がったことから、再び数字を落とした。業種によっては、この先経営を維持するのが厳しくなる状況が予測され、非常に心配である。
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> 定例全体会議を開催した際、「業界の先行き不安が増すばかり」との声が多かった。持続化給付金、家賃補助の話などの情報交換が一番活発な意見交換の材料となった。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による旅行自粛が大きく影響している。7月の4連休は多少集客があったものの、それ以外はあまり動きがなかった。観光活性化を目的とした「GOTOトラベルキャンペーン」は前倒しで7月22日からスタートしたが、最大マーケットの東京都が感染拡大によりキャンペーンから除外となったことが大きく影響した。 団体旅行の自粛をはじめ、この時期に毎年恒例となっている大学ゼミ合宿や各種企業の研修等がことごとく中止となっている。結果として、7月の宿泊客数は前年比30～60%で推移した。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策で正社員は在宅、派遣社員は現場(在宅外)で作業要請される場合がある。下半期に向けて取引状況が未定、延期、中止など不安要素が出てきている。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 6月の政府統計では、本県の民間住宅の持家戸数は前年同月比-17.1%、分譲住宅は-10.9%、貸家は-39.3%全体の建築物の床面積でも-20.6%と減少している。この流れがいつまで続くのか不安視している。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 例年はお盆を控え7月後半から荷物情報が増加するが、今年は相変わらず低調であった。7月の全国規模の荷物情報は昨年比8割程の大幅減少となった。 新型コロナウイルスの影響で、各業種とも出荷量が減少し輸送量が減ってきている。 燃料の価格が上昇傾向となっている。 売上は前年比較ではまだ下がっているが、直近の経営状況を鑑みれば好転してきている。この好転の状況が悪化に転じないか心配している。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 6月以降、収支の改善傾向は見られるものの、第1四半期の営業収入は前年同期比マイナス58%と大きく落ち込み、雇用の維持や借入金の返済など、多くの課題が残っている。さらには、クラスターや多数の感染者の発生により、再び外出を自制する動きが予測され、旅客需要の回復にとって懸念材料となっている。

4. 中央会・行政への要望

- 新型コロナウイルス禍の中で雇用調整助成金などの施策ではなく、仕事量を増やすような施策を実行してもらいたい。
- 新型コロナウイルスの抑制が中途半端では、経済活動再開もままならない。そういった意味で「GOTO キャンペーン」は、即時に中止・延期してもらわなければならない。観光業が死んでしまうと言われるが、雇用調整助成金の支援期間延長等、国の政策で出来ること。国民を助けるにはまずは命・健康が最優先である。
- 小さな売り場面積でいかに売上げを上げるかが勝負の小売店にとって、ソーシャルディスタンス等の新しい生活様式を取り入れることは、客数を入れないことになるため売上を半減させることと同じ。更に新型コロナウイルスの影響で客数も減っていることからダブルでダメージを受けている。このまま今の新しい生活様式を受け入れ続けることは難しい。現状とは違う「新しい生活様式」の提案を求める。

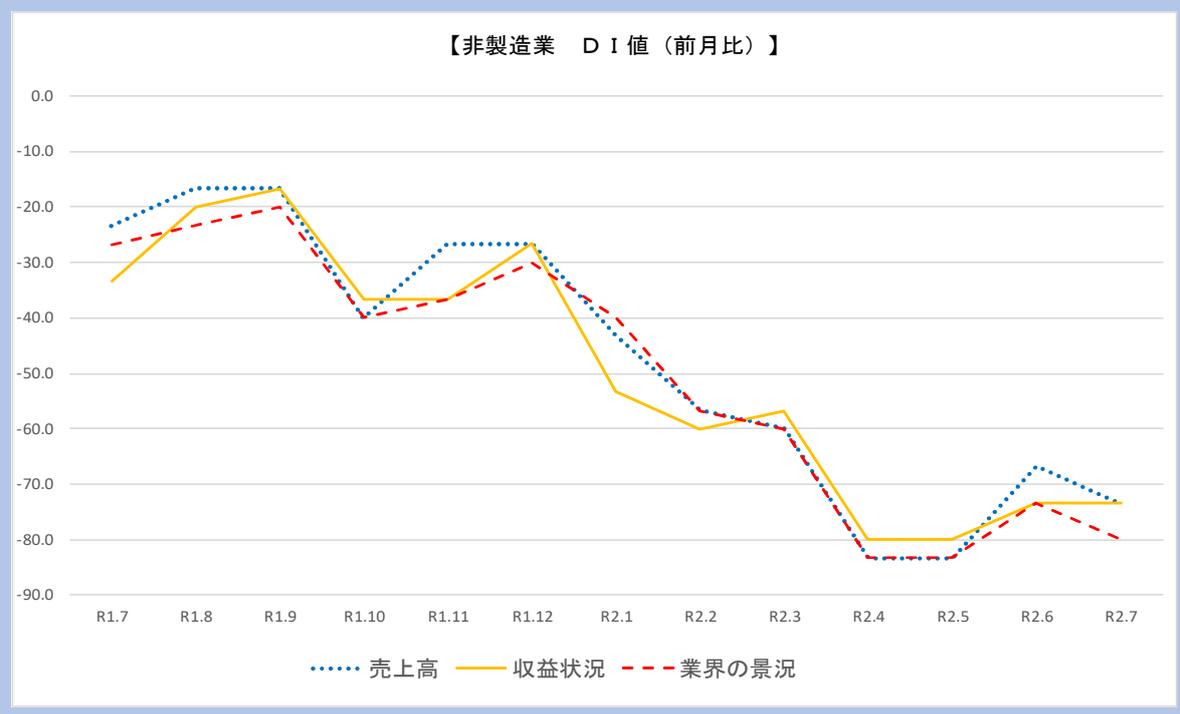
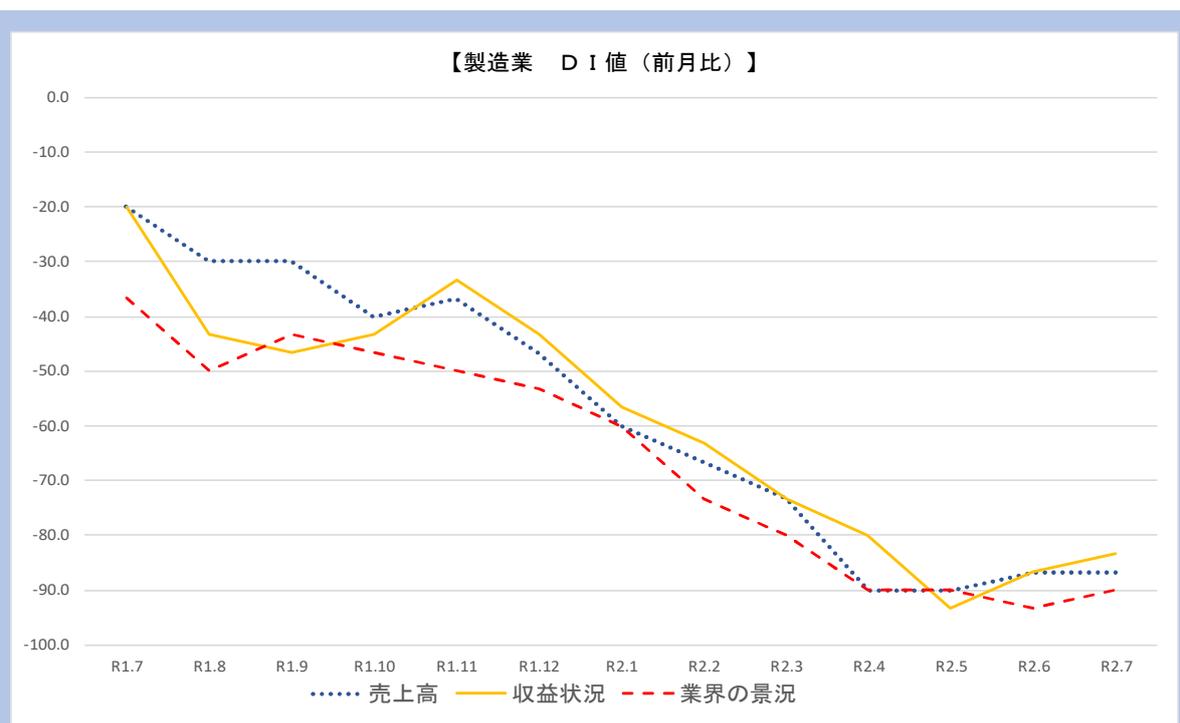
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年7月期～2020年7月期までの推移

全体	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
売上高	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0
収益状況	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3
業界の景況	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0

製造業	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
売上高	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7
収益状況	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4
業界の景況	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0

非製造業	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
売上高	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4
収益状況	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3
業界の景況	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0



■2019年7月期～2020年7月期までの推移

売上高	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
製造業	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7
非製造業	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4

収益状況	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
製造業	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4
非製造業	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3

業界の景況	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7
製造業	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0
非製造業	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0

